2105874HM4401

MITSUBISHI ELECTRIC

産業用　有圧換気扇〈低騒音形ステンレスタイプ20cm～60cm〉

タイプ	排気タイプ 形　名	羽根径(cm)	屋内外区分	給気タイプ 形　名	羽根径(cm)	屋内外区分
オールステンレスタイプ	EF-20YSXC	20	屋内	EF-20YSXC-Q	20	屋内
	EF-25ASXC	25		EF-25ASXC-Q	25	
	EF-30BSXC	30		EF-30BSXC-Q	30	
	EF-40DSXC	40		EF-40DSXC-Q	40	
	EG-40CSXC	40		EG-40CSXC-Q	40	
	EF-25ATXC	25		EF-25ATXC-Q	25	
	EF-30BTXC	30		EF-30BTXC-Q	30	
	EF-40DTXC	40	屋外	EF-40DTXC-Q	40	屋外
	EG-40CTXC	40		EG-40CTXC-Q	40	
	EG-50ETXC	50		EG-50ETXC-Q	50	
	EG-60FTXC	60		EG-60FTXC-Q	60	
オールステンレス高耐食タイプ	EF-30BSXC-F	30	屋内	EF-30BSXC-FQ	30	屋内
	EF-40DSXC-F	40		EF-40DSXC-FQ	40	
	EF-30BTXC-F	30		EF-30BTXC-FQ	30	
	EF-40DTXC-F	40	屋外	EF-40DTXC-FQ	40	屋外
	EG-50ETXC-F	50		EG-50ETXC-FQ	50	
	EG-60FTXC-F	60		EG-60FTXC-FQ	60	

取扱説明書（据付工事説明書付）

お客様へ

お客様ご自身では据付けないでください。
(安全や機能の確保ができません)
ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに添付別紙の「三菱業務用/産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

販売店・工事店様へ

据付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。据付工事は販売店・工事店様が実施ください。電気工事は有資格者である電気工事士の方が実施してください。
■この製品は単相100V製品と3相200-220V製品があります。電源を確認して据付工事を行ってください。
■この製品は排気専用または給気専用です。
羽根のつけ換えおよび結線の変更はできません。

据付工事終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

据付工事説明書　販売店・工事店様へ

1.安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生するおそれのある場所には据付けない 爆発や火災の原因。	指示に従う	オールステンレス高耐食タイプを高濃度の腐食性ガスが発生する場所や化学薬品を扱う場所に据付ける場合は、定期的（約1年を目安）に点検する 落下によるけがの原因。
禁止	オールステンレスタイプは塩素消毒している温水プール、酸・アルカリや腐食性物質・腐食性ガスの濃度が高い場所には据付けない 落下によるけがの原因。	指示に従う	煙突で排気する燃焼器具を設置した部屋の排気に使用する場合は、排気ガスが室内に逆流しないよう、十分な大きさの給気口を設置する 一酸化炭素中毒を起こす原因。
禁止	定格電圧・定格周波数以外では使用しない 火災・感電の原因。	指示に従う	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または、金属板張りの木造物と金属ボディの部分が直接接触しないように据付ける (電気設備の技術基準に従い施工してください) 漏電したとき、火災の原因。
禁止	換気および送風用途以外には使用しない 火災・感電・けがの原因。	指示に従う	漏電ブレーカを確実に取付ける 漏電のときに感電の原因。
アース線を必ず接続せよ	アースの工事は必ず有資格者である電気工事士が電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 故障や漏電のときに感電の原因。	指示に従う	保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る 感電やけがの原因。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの

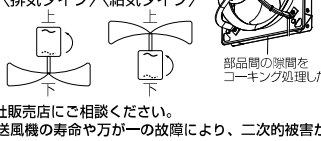
禁止	直接炎があたるおそれのある場所には据付けない 火災の原因。	指示に従う	羽根や部品の取付けは確実に行う 落下によるけがの原因。
禁止	オールステンレスタイプは相対湿度95%、オールステンレスタイプ高耐食タイプは相対湿度98%を超える場所に据付けない 感電や火災の原因。	指示に従う	電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備の技術基準に従って行う。絶対に「手より接続」はしない。又、電源電線の結線部分はJIS C 8340の「電線管用金属製ボックス」内にて行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
指示に従う	この製品は高所取付用のため床上1.8m以上に据付ける けがの原因。	指示に従う	開梱・据付け・保守点検およびお手入れの際は手袋を着用する 端面などでけがの原因。
指示に従う	本体の据付けは振動のない強固な場所に確実に行う 落下によりけがの原因。	指示に従う	積雪、落雪の可能性がある場所には据付けない 部品の破損・落下によるけがの原因。

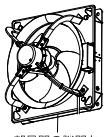
2.据付け前のお願い

●**軸水平姿勢で据付ける場合（給気タイプ機種のみ）**
部品間の隙間をコーキング処理した面（右図参照）を必ず下側にしてください。雨吸込時に商品から雨垂れのおそれがあります。ただし、壁と製品の間は別途コーキング処理が必要です。

●**軸垂直羽根下向き（給気タイプの場合は羽根上向き）姿勢で据付ける場合（羽根径50cm以上の機種）**
モータ内部のプレロードスプリングを反対側に移す必要があります。この処置は必ずお近くの「三菱電機システムサービス株式会社」（同梱の三菱業務用/産業用換気送風機 修理窓口）に依頼してください。

〈排気タイプ〉〈給気タイプ〉

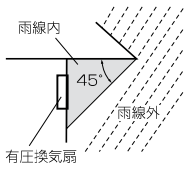



部品間の隙間をコーキング処理した面

●**機器組込用途でご使用いただく場合には、最寄りの弊社販売店にご相談ください。**
送風機が容易にメンテナンスができる構造とし、また送風機の寿命や万が一の故障により、二次的被害が想定される場合には必ずフェールセーフ設計の配慮をしてください。

●**この製品は高所取付用です。バックガードを装着しても床上1.8m以上のところに据付けてください。低い所に据付けられますと、けが・事故の原因になることがあります。**
また、床面から1.8m以上の設置位置であっても、作業・活動等により人体に触れる可能性がある場合は、より安全のため人体が触れない高さへの据付けをお願いします。
（据付けの際はバックガードの据付工事説明書に従い据付けてください）

●**屋外用は、直接雨がかかる場所でも使用できます。**
（屋外用のモータの水浸入に対する保護等級はJIS C 4034-5に定めるIPX4（防まつ形）相当です）。
ただし、錆により寿命が短くなるおそれがありますので、雨線内（軒下屋外）に設置いただくか、ウェザーカバーなどとの併用をおすすめします。



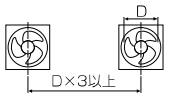
●**厨房では消防署の指導により、換気口周りに木材が使用できない場合があります。システム部材の不燃枠を使用してください。**

●**厨房の排気はオールステンレス厨房用をご使用ください。**

●**給気タイプをご使用の場合は、雨天時の雨水の吸込抑制のため防雨ブレード付給気形ウェザーカバーまたは雨水浸入抑制部材（羽根径40cm以上の機種）のご使用をおすすめします。**
ウェザーカバー、雨水浸入抑制部材が設置されている場合でも設置場所、据付け状態、天候状況によっては屋内へ雨水を吸込みます。雨水の吸込みによって屋内の保管品や設備等に被害が生じるおそれのある場合は、市販の雨滴センサーやフィルター等による吸込防止対策をしてください。

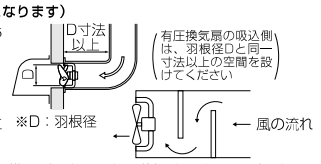
●**インバータ運転を行う場合は、必ず三菱送風機用インバータを使用してください。三菱送風機用インバータ以外を使用しますと異常な振動、共振、騒音等が発生するおそれがあります。**

●**2台以上近接して据付ける場合は、右図のように羽根径の3倍以上離して設置してください。**

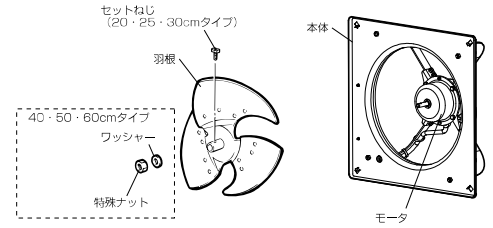


※D：羽根直径

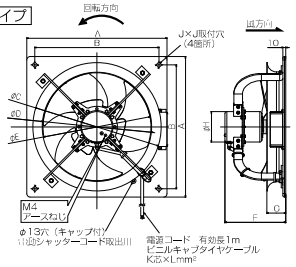
■**次のような場所には据付けないでください（故障の原因になります）**
- 右図のように、吸込側に遮へい物や極端な風路の曲がりがある場所（偏流が起こり羽根が破損することがあります）
- 50℃を超える場所（厨房等）
- −30℃を下回る場所
- 冷凍室など結氷するおそれのある場所
- 常時0℃以下になる場所
- 温泉や屋内プール等の腐食性ガスの発生する場所やめっき工場などの化学薬品を扱う場所（オールステンレスタイプ）
- 極端に高い静圧のかかる場所
- ほこりや油煙の多い場所
- 厨房等で油煙・蒸気が直接製品に掛かる場所
- 障害物のある場所
- 湿潤、乾燥が繰り返される場所



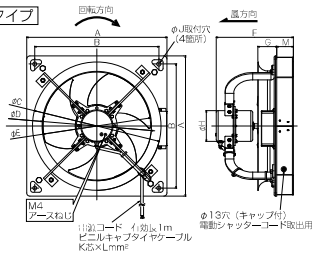
3.各部のなまえと外形寸法図



排気タイプ



給気タイプ



■変化寸法表　単位(mm)

排気タイプ形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L
EF-20YSXC	320	280	267	215	208	164	45	99	10	2	0.75
EF-25ASXC	370	330	298	255	250	164	50	99	10	2	0.75
EF-30BSXC	420	380	348	305	300	164	50	99	10	2	0.75
EF-40DSXC	520	460	476	405	400	225	70	113	15	2	0.75
EG-40CSXC	520	460	476	405	400	249	70	113	15	2	0.75
EF-25ATXC	370	330	298	255	250	164	50	99	10	3	0.75
EF-30BTXC	420	380	348	305	300	164	50	99	10	3	0.75
EF-40DTXC	520	460	476	405	400	225	70	113	15	3	0.75
EG-40CTXC	520	460	476	405	400	264	70	132	15	3	0.75
EG-50ETXC	620	560	605	510	500	311	88	164	15	3	1.25
EG-60FTXC	710	650	705	610	600	294	93	164	15	3	1.25
EF-30BSXC-F	420	380	348	305	300	164	50	99	10	2	0.75
EF-40DSXC-F	520	460	476	405	400	225	70	113	15	2	0.75
EF-30BTXC-F	420	380	348	305	300	164	50	99	10	3	0.75
EF-40DTXC-F	520	460	476	405	400	225	70	113	15	3	0.75
EG-50ETXC-F	620	560	605	510	500	311	88	164	15	3	1.25
EG-60FTXC-F	710	650	705	610	600	294	93	164	15	3	1.25

■変化寸法表　単位(mm)

給気タイプ形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
EF-20YSXC-Q	320	280	257	215	208	224	45	99	10	2	0.75	61
EF-25ASXC-Q	370	330	298	255	250	224	50	99	10	2	0.75	61
EF-30BSXC-Q	420	380	348	305	300	224	50	99	10	2	0.75	61
EF-40DSXC-Q	520	460	476	405	400	286	70	113	15	2	0.75	61
EG-40CSXC-Q	520	460	476	405	400	321	70	113	15	2	0.75	96
EF-25ATXC-Q	370	330	298	255	250	224	50	99	10	3	0.75	61
EF-30BTXC-Q	420	380	348	305	300	224	50	99	10	3	0.75	61
EF-40DTXC-Q	520	460	476	405	400	286	70	113	15	3	0.75	61
EG-40CTXC-Q	520	460	476	405	400	290	70	132	15	3	0.75	96
EG-50ETXC-Q	620	560	605	510	500	340	88	164	15	3	1.25	132
EG-60FTXC-Q	710	650	705	610	600	358	93	164	15	3	1.25	132
EF-30BSXC-F-Q	420	380	348	305	300	224	50	99	10	2	0.75	61
EF-40DSXC-F-Q	520	460	476	405	400	286	70	113	15	2	0.75	61
EF-30BTXC-F-Q	420	380	348	305	300	224	50	99	10	3	0.75	61
EF-40DTXC-F-Q	520	460	476	405	400	286	70	113	15	3	0.75	61
EG-50ETXC-F-Q	620	560	605	510	500	340	88	164	15	3	1.25	132
EG-60FTXC-F-Q	710	650	705	610	600	358	93	164	15	3	1.25	132

4.据付方法

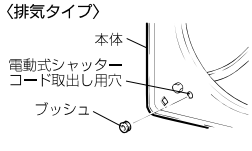
⚠注意

●**この製品は高所取付用のため床上1.8m以上に据付ける**　けがの原因。
●**開梱・据付けの際は手袋を着用する**　端面などでけがの原因。
●**製品の据付けは振動のない強固な場所に確実に行う**　共振により、騒音・羽根破損などの原因。

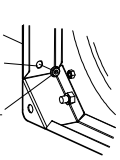
〈お願い〉
●汚れた空気を排出するときは新鮮な空気の入るところが必要です。
換気扇の取付枠と同等以上の大きさの、空気取入口を換気扇の反対側に設けてください。
●据付けに使用するボルト・ナット・ワッシャーなどはステンレス製のものを使用してください。
（鉄製のものを使用すると、もらいさびの原因となります）
高耐食タイプを据付ける場合は、ボルト、ワッシャー、ナットは防食処理（シリコンシーランドで覆う等）を実施してください。
●給気タイプはコーキングした面が下になるよう据付けてください。（雨垂れのおそれがあります）

電動式シャッターを据付ける場合

〈排気タイプ〉



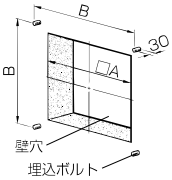
〈給気タイプ〉



電動式シャッターの電源コードを有圧換気扇側に引込む場合上図のように、電動式シャッターコード取出し用穴のブッシュを取りはずして据付工事を行う。

据付工事説明 4.据付方法 つづき

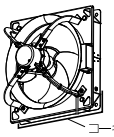
コンクリート壁に据付ける場合

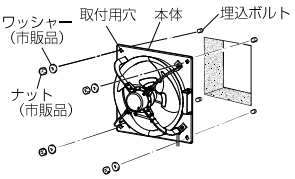


単位（mm）

タイプ	A		B	ボルト径
	シャッターをはめ込む場合	シャッターを使わない場合		
20cm	230	230	280	M8
25cm	275	270	330	M8
30cm	325	320	380	M8
40cm	430	410	460	M12
50cm	530	510	560	M12
60cm	620	610	650	M12

1. 壁穴をあけ、左図の位置に市販の埋込ボルトを埋め込む。
2. 本体を据付ける。
   埋込ボルトに本体4か所の取付用穴を通し、市販のワッシャー・ナットで確実に固定する。
3. コーキング処理をする。（給気タイプの場合）
   本体と壁の合わせ部(下図参照)にコーキング処理をする。
   (処理しない場合、雨垂れの原因)





システム部材を使用して据付ける場合

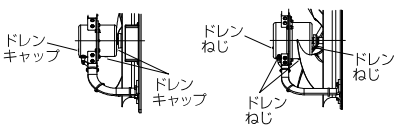
本品には壁面への取付部材として下記を用意していますので、用途に応じてお選びください。
（対応形名は三菱換気送風機総合カタログに記載）

●取付枠 ●絶縁枠 ●スライド取付枠 ●木枠 ●不燃枠

※各システム部材の据付けの際はそれぞれの据付工事説明書に従い据付けてください。

ドレンキャップ、ドレンねじについて

〈ドレンキャップの場合〉 〈ドレンねじの場合〉



屋外や湿度の高い場所、水蒸気や常時湿潤している場所、給気タイプで濃霧や雨水の吸込が想定される場所で使用する場合は、モータに設けたドレンキャップ、又はドレンねじが下側になるように据付け、下側になったドレンキャップ、ドレンねじを取りはずす。(取りはずさない場合、モータ内部結露による漏電や軸受損傷によってモータ交換が必要になる)

※上記環境かつ、ほこりの多い場所ではドレンキャップ、ドレンねじを取付けたまま使用し、ときどき取外して点検してください。

5.電気工事

⚠警告

定格電圧・定格周波数以外では使用しない
火災・感電の原因。
アースの工事は必ず有資格者である電気工事士が電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
故障や漏電のときに感電の原因。

⚠注意

電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備の技術基準に従って行う 絶対に「手より接続」はしない 又、電源電線の結線部分はJIS C 8340の「電線管用金属製ボックス」内にて行う
接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。

- 電源は単相100Vと3相200V～220Vの製品があります。
  電源の間違いがないか確認して接続してください。間違った電源で運転するとモータが焼損します。
- 必要に応じて電気工事士によるD種接地工事を行ってください。（3相200V～220V機種は必須）
- 漏電ブレーカを必ず設置してください。
- モータの焼損防止のため、過負荷保護装置（モータブレーカ又は電磁開閉器（電磁接触器＋サーマルリレー））を設置してください。過負荷保護装置は必ず機器1台ごとに据付けてください。過負荷保護装置の選定は最大負荷電流の1.2倍を目安にしてください。

6.据付工事後の確認・試運転

据付け、電気工事終了後、必ず次の1～4を確認し、試運転を行って5、6を確認してください。

1. 製品は確実に据付けてありますか。
2. 電源コードに傷・いたみはありませんか。
3. 正しくアース工事がしてありますか。
4. 電源電圧は正しいですか。
5. 異常な振動や騒音はありませんか。
   （異常がある場合は運転を停止し、電気工事内容を確認してください）
6. 3相製品の場合、回転方向が逆ではありませんか。
   （回転方向を修正する場合は、3本の電源のうち2本を入れ換える）

取扱説明 （お客様へ）

1.安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

水ぬれ禁止	**製品を水につけたり、水をかけたりしない** ショート・感電・火災の原因。
分解禁止	**どんな場合でも改造はしない 分解修理は修理技術者以外の人は行わない** 火災・感電・けがの原因。 修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。
接触禁止	**運転中は危険ですから、製品の中に指や物を入れない** けがの原因。
	電源が入ったままで運転が停止しているとき、異常時(こげ臭いなど)・停電時は、製品には絶対にふれない 突然運転し始めてけがや感電の原因。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で操作をしない** 感電やけがの原因。
指示に従う	**お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る** 感電やけがの原因。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの

禁止	**製品に異常な振動が発生した場合は使用しない** 製品・部品の落下によりけがの原因。
	1日50回以上のひんぱんな起動・停止を伴う使用はしない 部品の破損、落下によるけがの原因。
指示に従う	**長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカを切る** 絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因。
	羽根の汚れがひどい場合は必ず清掃をする 振動による部品の破損、落下によるけがの原因。
	お手入れや保守点検の際は手袋を着用する 端面などでけがの原因。

2.お手入れ・点検

⚠警告

お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る
感電やけがの原因。

⚠注意

お手入れや保守点検の際は手袋を着用する
端面などでけがの原因。

羽根などの清掃

約3か月に1度を目安に清掃する。

■お手入れは中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

■ほこりの多い場所で使用している場合は3か月に1度を目安に、下側のドレンねじまたはドレンキャップをはずしてドレンを抜き、元通りドレンねじまたはドレンキャップを取付ける。（ドレンを抜かない場合、漏電や軸受損傷の原因となる）

全体の清掃

■油、粉塵など可燃性の汚れが換気扇に付着していると、万が一の飛び火により火災の原因となるおそれがあります。必ず定期的（約1年を目安）に清掃してください。

お願い ●お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等研磨剤入りの洗剤（変質・変色する原因になります）

3か月に1度の清掃の際、下記の点検を行ってください。

点検項目		処置
錆	製品および製品据付用のナット・ボルトが錆びていませんか	錆が部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください。（製品落下によるけがのおそれがあります）
	羽根および羽根取付用のナットが錆びていませんか	錆が部品の広範囲に発生している場合は、部品交換が必要です。販売店・工事店様に修理を依頼してください。（製品落下および羽根落下によるけがのおそれがあります）
ガタつき	製品を据付けたナットがゆるんでいませんか 羽根やモータは確実に締結されていますか	ガタつきがないようにナットを締め付けてください。（製品落下および羽根落下によるけがのおそれがあります）
損傷	モータの外観が変色していませんか	モータ交換をしてください。 販売店・工事店様に修理を依頼してください。
	電源コードにキズなどありませんか	コードまたはモータ交換をしてください。 販売店・工事店様に修理を依頼してください。
	羽根に亀裂などありませんか	羽根の交換が必要です。販売店・工事店様に修理を依頼してください。（羽根破損/落下によるけがのおそれがあります）
ほこり	モータなど湿度の高い部分にほこりの付着はありませんか フィルター・防虫網をご使用の場合、目詰まりしていませんか	清掃してください
異常音	回転時に異常な音がしていませんか	軸受やモータの交換が必要です。販売店・工事店様に修理を依頼してください。 ※軸受の寿命は50℃環境での連続運転時において約3万時間です。（使用環境によっては短くなる場合もあります）点検のうえ、交換が必要です。

3.修理を依頼する前に

長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても、安全のための診断をお願いします。

下記のような現象が見られる場合、お客様で点検されても直らないときは、事故防止のためブレーカを切り、お買上げの販売店・工事店に点検修理をご依頼ください。費用については販売店・工事店にご相談ください。

現象	原因	処置
通電しても回転しない	ブレーカが切れている	ブレーカを入にする
停止と運転を繰り返す（3相200Vタイプの場合）	モータの焼損保護装置が作動している	電源を切り、原因を取り除いたのち、モータが冷えてから電源を入れる（注）
運転中に異常音や振動がする	羽根の締め付けがゆるんでいる	締め付け直す
	本体の締め付けがゆるんでいる	締め付け直す
	軸受より異音がする	軸受の交換が必要です。 販売店・工事店様に修理を依頼してください。
	広範囲に錆が発生している	錆びた部分の交換が必要です。 販売店・工事店様に修理を依頼してください。
焦げ臭いにおいがする	羽根に何か引っ掛かっている	引っ掛かっている物を取り除く
	周囲温度が50℃を超えている	周囲温度が50℃を超えている場所では使用できません。 周囲温度を下げるか、オールステンレス居室用を使用してください。
	モータ内部が腐食している	モータの交換が必要です。 販売店・工事店様に修理を依頼してください。

（注）モータに安全装置として、温度ヒューズまたは、自動復帰形サーマルプロテクターが内蔵されています。拘束、過負荷、欠相運転、異電圧印加、あるいは周囲温度が基準より高い場合には、上記安全装置が自動的に動作し回転が止まることがありますので、電源を切り原因を取り除いてください。（フィルター・防虫網を使用している場合は、目詰まりも原因となります。）再運転の場合には、以下を実施してください。

- 温度ヒューズ内蔵機種……単相100V機種
  〈処置〉ヒューズが溶断し通電不能となり再運転できません。電源を切り、専門の工事店へモータ交換を依頼してください。
- 自動復帰形サーマルプロテクター内蔵機種……3相200～220V機種
  〈処置〉電源を切り原因を取り除いて、モータが冷えてから再運転し正常に動作することを確認してからご使用してください。電源を切らず通電したまま放置しますとサーマルプロテクターが動作を繰り返し、接触不良や接点溶着につながるおそれがあります。この場合は、モータ交換が必要となります。電源を切り専門の工事店へモータ交換を依頼してください。

4.アフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」（別紙）にご相談ください。

※別紙チラシが不明な方は下記窓口にお問い合わせください。

■ご相談窓口

平日 9：00～12：00 13：00～19：00（土・日・祝・弊社休日以外）

三菱電機換気送風機技術相談センター……電話 0120-726-471（無料）

所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの三菱有圧換気扇の補修用性能部品を製造打切り後9年保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.仕 様

タイプ	形名	羽根径(cm)	風量(m^3/h)	騒音(dB)	最大負荷電流(A)	質量(kg)
オールステンレスタイプ	〈排気タイプ〉単相100V 50/60Hz					
	EF-20YSXC	20	660/780	32.5/36.5	0.33/0.37	3.6
	EF-25ASXC	25	1080/1260	36/39.5	0.7/0.76	4.4
	EF-30BSXC	30	1680/1980	39.5/43	0.94/1.2	5.4
	EF-40DSXC	40	3760/4360	48.5/53.5	2.5/3.3	12.5
	EG-40CSXC	40	3060/3660	41/44	1.9/2.2	12.5
	〈排気タイプ〉3相200-220V 50/60Hz					
	EF-25ATXC	25	1080/1260	37.5/40.5	0.27-0.32/0.27-0.29	4.8
	EF-30BTXC	30	1680/1980	39.5-41/43-44	0.48-0.55/0.46-0.48	5.5
	EF-40DTXC	40	3760/4360	49.5/53.5	1.15-1.2/1.25-1.2	12.5
	EG-40CTXC	40	3060/3660	41/44	0.62-0.65/0.73-0.7	12.5
	EG-50ETXC	50	6060/7140	47/51.5	1.8-1.85/2-1.95	26.5
	EG-60FTXC	60	9420/11160	51.5/55.5	3.3/3.3-3.2	29
	〈給気タイプ〉単相100V 50/60Hz					
	EF-20YSXC-Q	20	660/780	36.5/40.5	0.35/0.42	5.3
	EF-25ASXC-Q	25	1080/1260	38/42.5	0.74/0.75	6
	EF-30BSXC-Q	30	1680/1980	44/48	0.9/1.15	7
	EF-40DSXC-Q	40	3760/4360	52/55.5	2.45/3.3	15
	EG-40CSXC-Q	40	3060/3660	46.5/51	1.88/2.3	15.5
	〈給気タイプ〉3相200-220V 50/60Hz					
	EF-25ATXC-Q	25	1080/1260	38-38.5/42.5-43	0.28-0.32/0.26-0.28	6.5
	EF-30BTXC-Q	30	1680/1980	44-44.5/48.5-49	0.46-0.56/0.45-0.48	7.5
	EF-40DTXC-Q	40	3760/4360	53-53.5/57.5-58	1.1-1.15/1.1	15
	EG-40CTXC-Q	40	3060/3660	47/51	0.64-0.65/0.72-0.69	15.5
	EG-50ETXC-Q	50	6060/7140	52/56.5-57	1.8/2.1-2.05	30
	EG-60FTXC-Q	60	9420/11160	54-55/59	2.8-3/2.9	34
オールステンレス高耐食タイプ	〈排気タイプ〉単相100V 50/60Hz					
	EF-30BSXC-F	30	1680/1980	39.5/43	0.94/1.2	5.4
	EF-40DSXC-F	40	3760/4360	48.5/53.5	2.5/3.3	12.5
	〈排気タイプ〉3相200-220V 50/60Hz					
	EF-30BTXC-F	30	1680/1980	39.5-41/43-44	0.48-0.55/0.46-0.48	5.5
	EF-40DTXC-F	40	3760/4360	49.5/53.5	1.15-1.2/1.25-1.2	12.5
	EG-50ETXC-F	50	6060/7140	47/51.5	1.8-1.85/2-1.95	26.5
	EG-60FTXC-F	60	9420/11160	51.5/55.5	3.3/3.3-3.2	29
	〈給気タイプ〉単相100V 50/60Hz					
	EF-30BSXC-FQ	30	1680/1980	44/48	0.9/1.15	7
	EF-40DSXC-FQ	40	3760/4360	52/55.5	2.45/3.3	15
	〈給気タイプ〉3相200-220V 50/60Hz					
	EF-30BTXC-FQ	30	1680/1980	44-44.5/48.5-49	0.46-0.56/0.45-0.48	7.5
	EF-40DTXC-FQ	40	3760/4360	53-53.5/57.5-58	1.1-1.15/1.1	15
	EG-50ETXC-FQ	50	6060/7140	52/56.5-57	1.8/2.1-2.05	30
	EG-60FTXC-FQ	60	9420/11160	54-55/59	2.8-3/2.9	34

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。